

なかよくしてね!

野市東保育所にウサギが仲間入り

4月23日(月)野市東保育所に土佐市からウサギがやってきました。

野市町と縁がある土佐市の矢野さん夫妻から「孫の飼っていたウサギを貰ってほしい」との申し出に、5歳児のパンダ組みんなが世話をして飼おうということになりました。

この日、玄関で出迎えたパンダ組の園児たちは、矢野さん夫妻に「大事にします」と約束をし、抱き方やえさのやり方などを教わりました。



桜の花が咲く季節に来たウサギは「サクラ」と名付けられ、保育所の人気者になっています。

土佐弁ミュージカルしゅちゅうかえ?

「ヘラクレスの純愛の巡礼」

4月15日(日)のいちふれあいセンターで、外国人を中心としたボランティア団体「GENKI青年会」主催の土佐弁ミュージカルが行われました。この作品は、幕末時代の土佐藩を舞台に、高知県の文化と外国の文化の違いを表現したもので、脚本などはすべて手作り。出演者が土佐弁を使い、コミカルな演技で観客の笑いを誘っていました。水兵役で参加した香南市国際交流員のベンジャミン・トランブルさんは、「この舞台を通じて、高知県でお世話になった人たちに楽しんでもらって恩返しできたら」と話していました。



水兵を演じるベンジャミン(中央上)

弥太をしのんで文学と親しむ

岡本弥太第6回白牡丹祭

岡本弥太文芸賞受賞者(敬称略)

【詩部門】 応募当時の学年となっています。

- 一般の部 一席 島田清子(香我美町)
- 中学生の部 一席 青野利紀(香我美中3年)
- 小学生の部 一席 弘田裕聖(香我美小1年)
- 【短歌部門】
- 一般の部 一席 岩井純子(野市町)
- 中学生の部 一席 橋本佳枝(香我美中3年)
- 小学生の部 一席 井上陽加(須崎小6年)
- 【俳句部門】
- 一般の部 一席 橋本正義(黒潮町)
- 中学生の部 一席 岡崎琢也(香我美中1年)
- 小学生の部 一席 小谷太朗(高岡第一小1年)
- 【川柳部門】
- 一般の部 一席 北川鉄男(高知市)
- 小学生の部 一席 市原央子(高岡第一小2年)

4月21日(土)香我美町岸本の峯本神社内で、南海の詩人岡本弥太をしのぶ、白牡丹祭が開催されました。岸本小学校5、6年生による「わが涙」の斉唱や、一絃琴の会の「白牡丹図」の演奏。弥太の長女にあたる坂倉留香さんが恋多き弥太のエピソードを話されました。

文芸賞は約850作品の応募があり、「量より質で佳作の席がもう数席、欲しかった」との評価もありましたが、地元の学校からの応募が少ないので、残念だとの声も聞かれました。



土佐赤岡のどろめ祭り



第51回どろめ祭り大杯飲み干し大会入賞者

男性		
優勝[2年連続]	垣本真吾(高知市)	14.2秒
準優勝	大原健一(高知市)	16.5秒
女性		
優勝[2年連続]	間中弘美(茨城県つくば市)	14.5秒
準優勝	湊先真理恵(香川県四国中央市)	12.6秒

飲むときのマナー・飲みっぷりも審査対象です

注意 お酒は二十歳になってから! 無理な一気飲みも禁止です。



昭和33年、地元の醸造家が地酒のPRに「どろめ」をさか
なにして客人を接待したことが始まりというどろめ祭り。
51回目の今年、会場の赤岡海浜は約1万人の人出でにぎ
わいました。ステージでは民謡や子ども歌舞伎、地元歌手ら
のステージやフラダンスなど多種多様。海上では、勇壮な漁
船パレードが披露されました。
大杯飲み干し大会には男女25人が出場し、行司の「こぼさ
ず一気にくーっと、ぐーぐー」との掛け声に、飲みつづ
りとタイムを競いました。今年は、女性出場者が名物行司の
島崎信将さんに杯を返す一幕や、出場するのが長年の夢だ
ったという京都の芸妓、司太夫さんの出場もあり、おおい
に会場を沸かせました。

